



材料安全データシート
91/155/EC 準拠

2000年 1月14日改訂
2000年 12月18日発行

会社名：日本ヒルティ株式会社 マーケティング本部 アンカーグループ
電話：045 - 943 - 6224 ファックス：045 - 943 - 6234

1. 物質の特定

製品情報：

製品名： CFR 1 / CF100R1

製造/供給元： 横浜市都筑区茅ヶ崎南 2-6-20

日本ヒルティ株式会社

Tel 045-943-6224 / Fax 045-943-6234

緊急連絡先： 16章参照

2. 成分情報

化学物質：溶剤混合物

危険物質

67-64-1 アセトン 25-50%

F; R 11

67-63-0 プロパン - 2 - o1 25-50%

F; R 11

106-97-8 純ブタン 25-50%

F+; R 12

追加情報

8章参照

3. 危険性の分類

危険性表示



F+ 著しく可燃性

人体と環境に対する危険性関連情報

R 12 著しく可燃性

圧力容器：直射日光や照明等で 50 以上の温度にならないようにして下さい。

使用後でも、穴を開けたり、燃やさないで下さい

炎や白熱物に噴霧しないで下さい。発火源に近づけないで下さい。禁煙

分類システム

分類は、現行の EC リストに準じている。しかし、技術文献およびメーカー情報により範囲を拡大しています。

4. 応急処置

一般情報

製品が付着した衣類等はすぐに脱いで下さい。

吸引した場合

新鮮な空気を吸ってください。何らかの症状が出た場合は、医師の診断を受けて下さい。

皮膚に触れた場合

速やかに石鹸で洗い、水で洗い流して下さい。

目に入った場合

流水で数分間洗眼して製品を洗い流して下さい。その後、医師の診断を受けて下さい。

飲み込んだ場合

大量の水を飲み、新鮮な空気を吸ってください。直ちに医師の診断を受けて下さい。

医療情報

危険性

アルコール摂取時は、症状が悪化する恐れがあります。

5. 消化処置

適切な消火剤

二酸化炭素、粉末消火剤、ウォータージェット。より大きな火災には、ウォータージェット、あるいは、耐アルコール性フォームを使うこと。

安全上の理由から不適切な消火剤

強力なウォータージェットによる水

材料、燃焼時の生成物あるいはガスによる特別な危険

缶には爆発性の気体を含んでいます。

保護具

爆発した気体あるいは燃焼ガスを吸引しないで下さい。

追加情報

火にさらされた容器は、ジェット噴水で冷却して下さい。

6. 不測の事故防止措置

人体に対する配慮

適度な換気を行なう。

発火物から遠ざける。

環境に対する配慮

下水及び水域への流出を防ぐ。

清掃および回収時の配慮

液体吸収剤に染み込ませる。(砂、ダイアトマイト、酸吸収剤、万能吸収剤、おがくず)

7. 取扱いおよび保管

取扱い

安全な取扱いへの情報

作業場所の換気/排気を良好に保つ。

熱源あるいは直射日光から遠ざける。

破裂の危険性あり

爆発及び火災を防止するための情報

注意) 容器は、圧力がかかっています。直射日光や 50 以上の温度は避けて下さい。使用後でも容器をこじ開けたり、火の中に投じないこと。炎や赤熱物体に吹きつけないこと。発火源より遠ざける - 禁煙。

換気が不適切な場合、爆発性ガスを形成する可能性があります。

保管

保管室および容器に対する要求事項

容器をしっかりと閉じ、乾燥状態を保ち、5~25 で保管して下さい。

8 . 暴露防止措置

技術システムの設計に関する追加情報：

追加データなし。7 章参照。

作業場で監視が必要な成分の制限値：

この製品には、作業場で監視が必要な成分を含まない。

追加情報：

編集時点でのリストを基本として用いた。

人体保護装置

一般的保護および衛生手段

化学物質取り扱い上の一般規則に加え、通常の手防手段を講じる。

休憩時間と作業終了時には手を洗う。皮膚に触れないようにする。作業中は、飲食あるいは喫煙を避ける。

呼吸装置：

短期間の露出あるいは軽度の汚染の場合、濾過呼吸装置を使うこと。長期あるいは極度の露出の場合、循環空気とは別の呼吸装置を使うこと。

手の保護：

保護手袋

目の保護：

高気密の保護眼鏡

保護眼鏡

体の保護：

保護服

9 . 物理/化学的特性

形 : エアロゾル

色 : 無色

臭い : アセトンのような臭い

規格値	単位	方法
-----	----	----

状態変化

融点/融解範囲 : 未確定

沸点/沸騰範囲 : エアロゾルとして該当なし

引火点 : エアロゾルとして該当なし

発火点：230

自己発火性：無

爆発性：無。しかし、爆発性の混合気体/蒸気を形成する可能性あり。

爆発限界：

下限：1.5 Vol %

上限：13.0 Vol %

蒸気圧：2.5 – 2.9 bar（20 時）

密度：未確定

水に対する溶解度：部分的に溶解する。

溶解成分：

有機溶剤：80-100%

10 . 安定度と反応度

熱分解/回避条件

仕様に従って使用する場合、分解しない。

危険反応：

熱により内部圧力が増し、爆発する危険がある。

有害分解物質：無

11 . 毒性情報

鋭い毒性：

主な刺激作用：

皮膚：一般的に皮膚に刺激を与えない

目：軽度の刺激の可能性あり

感作性：無

12 . 生態環境情報

生態学上の影響：未確定

備考：

水に対する危険性：クラス 1（ドイツ基準）（自己評価）：水に対して僅かに危険
製品を薄めないままあるいは大量に地下水、水域、下水等へ流さないこと。

13 . 廃棄時の注意

製品：

推奨：廃棄する場合、法令等を遵守する。

汚れた梱包材：

推奨：廃棄する場合、法令等を遵守する。

推奨洗浄剤：必要な場合、水を使う。

14. 輸送情報 j

陸上輸送 ADR/RID (通関)

ADR/RID-GGVs/E Class : 2

番号 / 文字 : 5f

UN 番号 : 1950

製品呼称 : 圧力容器

海上輸送 IMDG:

IMDG Class : 2

ページ : 2102

UN 番号 : 1950

梱包グループ :

EMS 番号 : 2-13

MFAG : 620

海洋汚染物質 : 無

適正技術名称 : エアゾール

航空輸送 ICAO-TI 及び IATA-DGR :

ICAO/IATA Class : 2.1

UN/ID 番号 : 1950

梱包グループ :

適正技術名称 : エアゾール、可燃性

15. 法規関連情報

EC ガイドラインによる記号 :

本製品は、危険物質に関する EC 指令/告示に従い分類し表示している。(GefStoffV)

製品の規準記号および危険表示 :

F+ 著しく可燃性

リスク記号 :

12 著しく可燃性

安全性記号

2 小児の手の届かない場所に保管する。

7 容器をしっかりと閉じておく。

23 ガス/臭気/蒸気/噴霧を吸引しない。

26 目に入った場合、直ちに大量の水で洗い流し、医師の診察を受ける。

51 換気のよい場所で使用すること。

特定薬品の特別表示

圧力容器 : 直射日光や照明等で 50 以上の温度にならないようにして下さい。

使用後でも、穴を開けたり、燃やさないで下さい

炎や白熱物に噴霧しないで下さい。発火源に近づけないで下さい。禁煙

国内規則

VbF に従った分類 : 該当無

技術上の指示 (空気):

クラス 比率%

95.5

水に対する危険性：

水に対する危険性クラス 1 (自己評価)：僅かに水への危険性あり

16. その他の情報

これらのデータは、現時点での知識に基づいています。しかし、これは特定の製品情報に対していかなる保証をするものではなく、また、法的に有効な契約関係を形成するものではありません。

1996年12月10日に発行した本書の訂正箇所：

発行部署

〒224-8550 横浜市都筑区茅ヶ崎南 2-6-20

日本ヒルティ株式会社 マーケティング本部

Tel 045-943-6224 / Fax 045-943-6234